

健康

ガイド



=保健センターからのお知らせ=

☎ 健康推進課(佐屋保健センター) ☎(28)5833

ご不明な点は、お問い合わせください。

<高齢者肺炎球菌の予防接種>

対象	接種場所	接種回数	接種料金	備考
① 平成30年4月2日～平成31年4月1日の間に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の誕生日を迎える、接種を希望される方	愛西市、津島市、 弥富市、あま市、 海部郡の指定医療機関	1回 過去に接種したことがある方は、対象となりません。	2,000円	・①の対象の方には、4月に「高齢者肺炎球菌予防接種券」と案内を送付しました。 ・②の対象の方は、手続きが必要です。 お問い合わせください。 ※事前に医療機関への予約が必要です。
② 満60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器に障害のある方(身体障害者手帳1級程度)またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障害のある方				

※ひとり1回今年度限りの対象です。平成30年度対象となった方は、今後補助の対象となることはありません。

※この制度では今までのワクチン「ニューモバックスNP(23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン)」を接種したことがない方を対象に、平成30年度までの間に1人1回、定期接種の機会を設けています。平成31年度以降は65歳の方のみ対象となる予定です。

※愛知県広域予防接種について

子どもおよび大人の予防接種について、疾病や里帰りなどの事情で区域外の医療機関にかかっている場合、愛知県内の広域予防接種協力医療機関で接種することができます。事前に手続きが必要です。

<大人の風しんワクチン接種費用の助成について>

市内在住で、妊娠を予定または希望している女性(経産婦・妊娠中の方を除く)で、抗体価が低いと判定された方(愛知県が抗体検査の費用助成を行っています)に対し、風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチンの接種費用の一部を助成します。



歯の健康講座

食育に注目

毎日の食事に対する正しい知識を持つことにより、食事の質が向上し健康増進が望めます。特に成長期に重点をおくことは一生の健康を左右します。そこで、子ども達が自分の健康を守り、健全で豊かな食生活を送るための自己管理能力を育てようとするのを食育と言い、教育現場ではその重要性が見直されています。

熟成する消費社会の中で、食の簡素化、多様化、欧米化、無国籍化にともない家庭食のメニューの多様化の進行により、現在我が国では男性では肥満、女性ではやせが増加するなど、食生活の乱れに由来する病気が増えています。そこで、大人になってから食習慣を変えることは大変困難であるため、食習慣の形成期である小さい頃から正しい食教育を受けたり、様々な食体験を通じた食事の自己管理能力を養う必要性が生じています。

食育への様々な取り組みの中で、文部科学省は昨年、冊子“チーム学校で取り組む食育推進のP(計画)D(実践)C(評価)A(改善)”を発表し学校内にとどまらず、家庭や地域にも自己評価の結果を開示して成果を可視化することが重要であると食育に関する情報を盛んに発信しています。また、歯科領域からの食育の推進には、一口30回以上かむことを目標とした、「嚙ミング30(カミングサンマル)」などの「食べ方」を中心に据えた展開を提示し、食育の支援を行っています。しかし、**肝心の食を司る咀嚼機能が健全でなければ、何の意味もありませんので、日頃からかかりつけ歯科医での定期健診が大切です。**

(海部歯科医師会)

